

# 辺野古・大浦湾を埋め立てるな！

## 今、どうなっているの？

■沖縄県名護市の米軍用の辺野古新基地建設工事では、辺野古側の埋め立てはほぼ終了し、大浦湾側では2024年7月に杭打ちが始まりました。しかし、埋立土砂は投入されていません。基地建設工事の中止は、まだ間に合います！

辺野古側（面積37ha）  
〈ほぼ完了〉

- 2018年に埋立開始、2023年で計画土砂量（約319万m<sup>3</sup>）の99.7%を投入。
- これは埋立全体に必要な土砂量の約16%にすぎない。



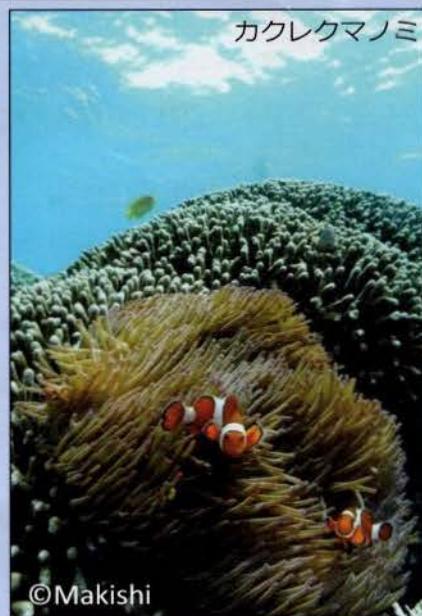
大浦湾側（面積113ha）  
〈まだ埋めていない！〉

- 大浦湾側は、辺野古側の面積の3倍以上あり、またかなり深いため、埋立土砂量は5倍以上が必要（約1,707万m<sup>3</sup>）。
- 2024年7月に護岸建設用の鋼管杭打ち開始。埋立完了は早くても12年後になる。

**埋立土砂量はまだ16%、工事は中止できます！**

## 大浦湾には、どんな生き物がいるの？

■辺野古・大浦湾には、サンゴ礁、海草藻場、岩礁、砂浜、干潟、マングローブなど、多様性に富んだ自然環境があります。そのため、それぞれの環境に適応したいろいろな種類の生物が棲んでいます。たいへん生物多様性が豊かな場所です。記録されている海域生物は5,334種で、262種の絶滅のおそれのある生物が含まれます。深い海底では新種や未記録の生物が発見されています。



■辺野古・大浦湾の海域は、厳正保護、保護・保全の必要な海岸（沖縄県）、重要湿地および生物多様性の観点から重要度の高い海域（環境省）、国際NGOミッション・ブルーが認定したホープスポット（希望の海）など、世界的に見ても生物多様性保護のために重要な海域です。

**生物多様性の宝庫です！**

# 軟弱地盤の埋立は、だいじょうぶなの？

■大浦湾には、海面下90mあたりにマヨネーズ状の軟弱地盤があります。軍事基地を造るため、71,000本もの砂杭を海底に打ち込んで固める地盤改良工法が使われます。しかし、技術的には70mまでの砂杭しか打ち込むことができません。改良地盤の下には軟弱地盤が残ります。そのため、工事後に凸凹に地盤が沈下し、また、地震で崩壊する可能性があるとして指摘されています。



■これまで、大浦湾～嘉陽、古宇利島周辺で見られていた3頭のジュゴン（マンボウ）は1頭が死に、2頭が行方不明です。辺野古の海草藻場は埋め立てられました。保全のためのサンゴ移植（84,000個を予定）は方法が乱暴で、すでに半分の移植サンゴが死んでいるとみられます。建設工事は、環境と生物に悪影響をおよぼしています。

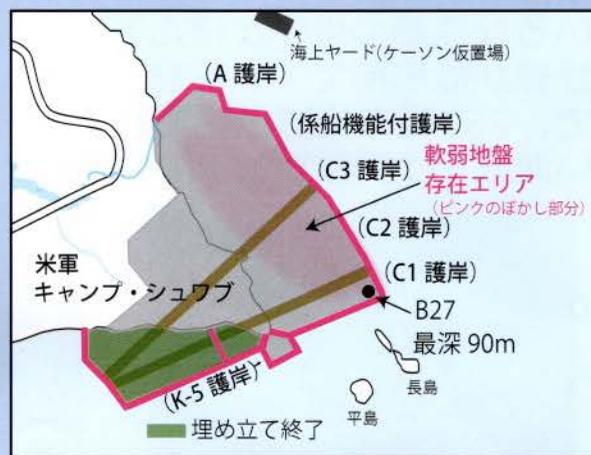
➡ **埋立事業は失敗します！**

# 建設費用は、いくらかかるの？

■辺野古新基地建設計画は、今から28年前の1996年、日米両政府の合意（SACO合意）によって決まりました。数回の計画変更のあと、総工費は、2014年に3500億円、2019年には9300億円と2.7倍にふくれ上がりました。

■その後、2023年末までに57%の5319億円が、すでに使われています。工事期間は今後最短でも12年あるので、工事費は一体いくら掛かるのでしょうか？

■沖縄県の試算（2019年）では、2兆5500億円に達しています。とんでもない金額の税金が投入されるのです。その結果できるのは、地盤沈下がひどくて使いものにならない軍事基地です。全く無駄な事業です。



➡ **辺野古新基地建設は今すぐ中止を！**

**総工費は天井知らず、税金の無駄遣いはやめよう！**

辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会（埋めるな！連）

連絡先：辺野古への基地建設を許さない実行委員会

TEL:090-3910-4140（沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック）

平和を実現するキリスト者ネット T&F:03-3813-2885

辺野古・高江を守ろう！NGOネットワーク: henokotakaengo@gmail.com



#承認されていない辺野古工事をやめろ

承認されていない辺野古工事をやめろ！キャンペーン

11/20 ~ 12/20  
< 6月4日(土) ~ 6月19日(日) >

政府の言いなりに  
司法は住民の意思を尊重し、  
なりになるな！

- ★各地・各場所でアピールしましょう！
- ★リーフレット（A4 二つ折り）を配布  
利用したい方はご連絡ください。
- ★アピール行動をツイッターで投稿  
「#承認されていない辺野古工事をやめろ」を付けて  
.....☆.....☆.....☆.....
- ◆本リーフレットなどへのカンパをお願いします◆  
【振込先】<郵便振替>口座番号：00280-1-131711  
加入者名：辺野古実行委員会  
※通信欄に「埋めるな連カンパ」と必ず書いて下さい



写真はすべてへり基地反対協のブログから転載

辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会（埋めるな！連）

<https://henokoumeruna2018.exblog.jp>

辺野古への基地建設を許さない実行委員会

TEL 090-3910-4140（沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック）

平和を実現するキリスト者ネット

TEL&FAX 03-3813-2885

辺野古・高江を守ろう！NGOネットワーク

Email [henokotakaengo@gmail.com](mailto:henokotakaengo@gmail.com)



# 承認されていない！

# 辺野古工事をやめろ！

## 辺野古新基地建設の設計変更は 承認されていません

ジュゴンも  
ウミガメも  
サンゴも  
死んでいっている

完成の見通しの立たない工事は  
全て中止すべき(玉城デニー知事)



米軍

辺野古新基地建設は今

大浦湾側の設計変更申請を玉城知事が承認していないにも関わらず、なぜ辺野古の埋め立ての工事や新たな発注が続いているのでしょうか。

玉城デニー沖縄県知事は、昨年11月25日、設計変更申請に対して「(軟弱地盤のある)最も重要な地点に必要な調査が行われておらず、埋め立てに合理性がない」と判断して不承認としました。そして、「完成の見通しの立たない工事は全て中止すべきだ」と言明しました。

しかし国土交通大臣は、この不承認を4月8日取り消し、承認するよう知事に強要しました。この決定は、全く不当で、地方自治法に違反するものです。こうした中でも辺野古の現場では工事が進められています。違法な工事が進められていることに批判の声を広めていきましょう

## 沖縄県民投票7割以上反対、軟弱地盤・地震対策不十分

辺野古新基地建設に対して沖縄県民投票では、7割以上が反対の意志表示。政府は沖縄の民意をこれ以上無視してはなりません。大浦湾の海底には90mに及ぶ「軟弱地盤」がありますが、現在の技術では70mの深さまでしか改良工事はできません。しかし防衛省はボーリング調査もせず、それより深い軟弱地盤の改良はしなくても大丈夫だと強弁。また政府の地震調査委員会が大規模地震の可能性を指摘しているにも関わらず、中小規模レベルの地震対策しかしていません。

こんな杜撰な計画では、知事も承認を出せる訳がありません

## 埋め立て前提の水路切り替え工事 ❌

大浦湾に豊かな水を注ぎ込む美謝川(みじゃがわ)の水路を切り替える工事が、現在行われています。大浦湾を埋め立てることが承認されていないのに、埋め立て前提の切り替え工事はおかしいです。

## 埋め立て前提の護岸工事 ❌

大浦湾を埋め立てるために必要だと言われている護岸工事が続いています。防衛省は「埋め立てが承認されていないから、まだ埋め立てません」と言いながら、準備を続けているのです。埋め立て中止が決まったら、無駄な税金を注ぎ込んでいたことになります。どうするつもりなのでしょう。

## 埋め立て前提のサンゴ「移植」 ❌

サンゴの「移植」がなされています。埋め立ては承認されていないのに、何のため?(しかも「サンゴが弱るから、移植するとしてもこの時期にやってはならない」と話し合ったにも関わらず、防衛省は約束を破って無理やり移植を進めたのです。)

## 埋め立て前提の業者発注 ❌

防衛省は承認されていない埋め立てができないにも関わらず、埋め立て工事のための新たな発注を業者に行っていることが分かりました。「承認されたらすぐに工事を始められるように」と防衛省は言っていますが、「承認されていない」というのは、「工事が認められていない」ということなのに、それを完全に無視する暴挙です。